



2026年6月23日

各 位

会 社 名 株式会社サンテック
代表者名 代表取締役社長 八幡 信孝
(コード番号 1960 スタンダード市場)
問合せ先 管理部長 中村 毅
(TEL. 03 - 3265 - 6181)

当社取締役会の全体としての実効性の評価結果の概要について

コーポレートガバナンスの実効性を向上させるための取り組みの一環として、コーポレートガバナンス・コード補充原則4-11③に基づき、当社取締役会の全体としての機能向上に資する目的で、昨年引き続き本年度も独立社外取締役と独立社外監査役で構成される独立社外役員会が主体となって当社取締役会の全体としての実効性の評価を実施いたしましたので、その概要をお知らせいたします。

1. 評価の方法

全取締役・監査役に対して本評価活動の趣旨を説明の上、昨年と同様記名式にて、質問票を配付し、以下項目に分けてアンケートを実施しました。

評価を実施した項目

- ・取締役会の構成、取締役会の運営・監督状況
- ・社外取締役、社外監査役、指名・報酬委員会の構成と役割、運営状況
- ・取締役会の支援体制、ガバナンス体制、実効性全般
- ・株主その他ステークホルダーとの関係
- ・総括とその他
- ・DX推進における以下の項目
取締役の選任、ビジョン、経営トップのコミットメント、仕組み、事業への落とし込み、ビジョン実現の基盤としてのITシステムの構築、ITシステム構築におけるガバナンス体制、経営陣の評価、ステークホルダーへの情報開示

2. 評価結果の概要

独立社外役員会が当社取締役会へ報告した評価の内容は、当社の取締役会において経営上重要な事項の承認と業務執行を行うための実効性が当社取締役会全体として確保されているとした一方で、以下の項目につきまして、改善状況の推移を見守る必要があるとしています。

- ・第14次中期経営計画の開始に伴い、サンテックグループ全体の長期的・戦略的な方向性を明確化し、経営計画を着実に推進する体制を構築する。
- ・社内最高意思決定機関である取締役会と経営会議の役割分担を従来以上に明確化し、経営会議による業務執行のさらなる迅速化を図るとともに、取締役会による経営の大局的な戦略方向の提示及び執行監督機能の強化を進める。
- ・任意の指名・報酬委員会を含む取締役会において、ガバナンス強化の観点から、取締役会の機能と経営会議の機能の明確化に関するより具体的な議論を行い、その進捗管理を強化する。
- ・DXの取組みに関するステークホルダーへのより深い情報開示体制を構築する。

3. 今後の対応

当社取締役会は、第14次中期経営計画の推進に向けた経営体制整備を踏まえ、今後は各施策の実効性向上に注力してまいります。具体的には、取締役会及び経営会議の機能発揮状況を適切に把握・検証する体制とともに、経営人材の育成及び経営体制の持続的な強化に関する議論の具体化と進捗管理の強化を図ります。また、DXの取組みに関する情報開示については、可能な範囲で定量的な指標も踏まえつつ、その充実に努め、適切な説明責任を果たしてまいります。これらにより、単なる推移の見守りにとどまらない、実効性あるガバナンス体制の構築を推進してまいります。

以 上